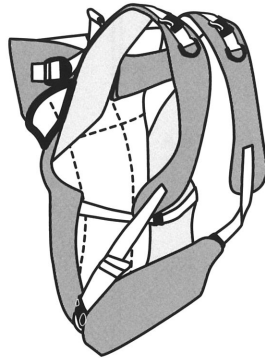
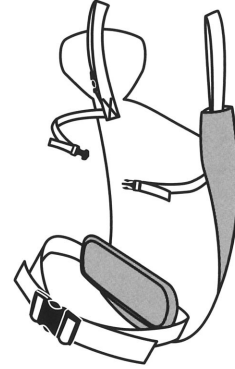
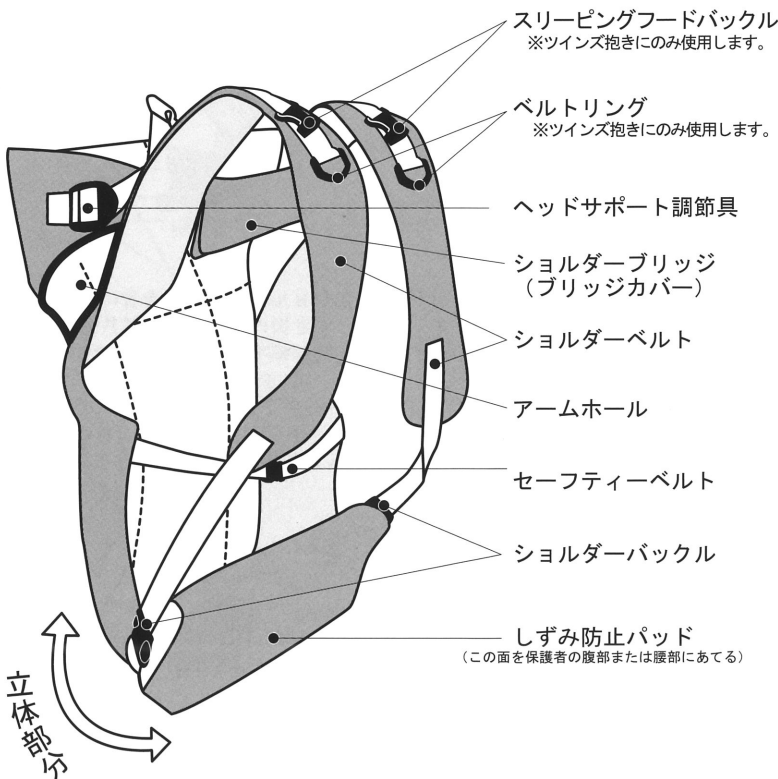
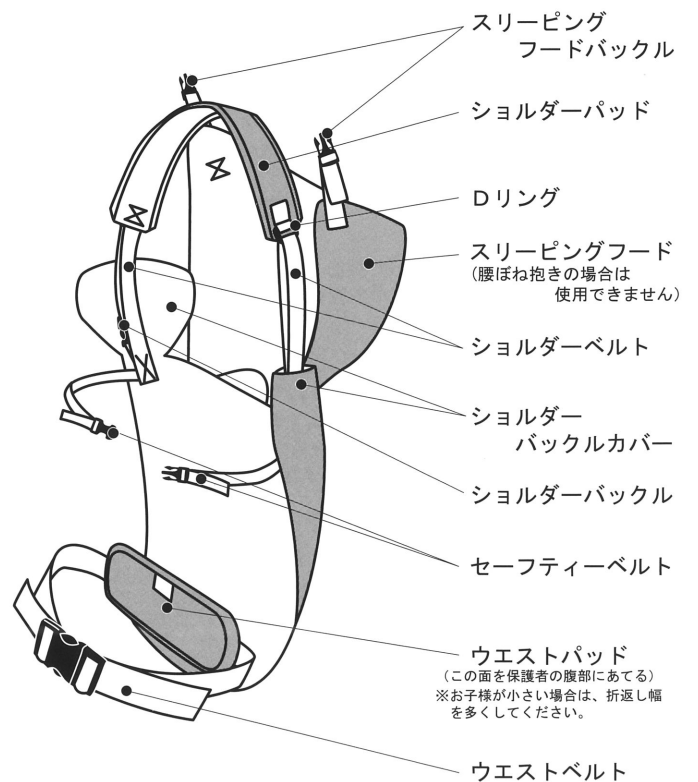
ツインズキャリー 取扱説明書

お子様の安全のため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

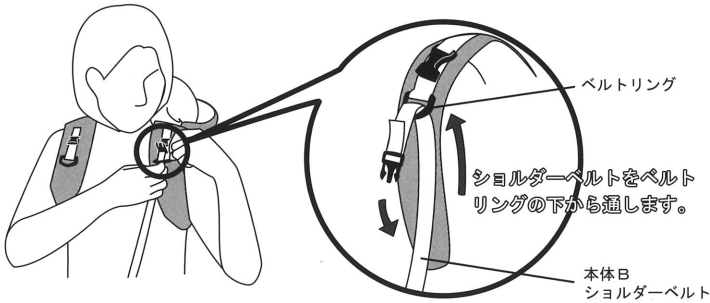
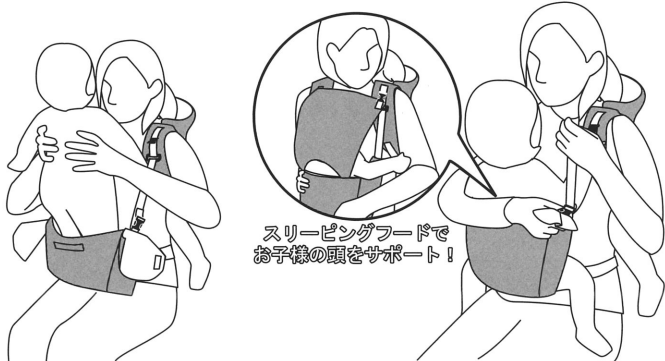
●はじめにセット内容をお確かめください。

各部の名称

本体A（おんぶ・抱っこ兼用）

本体B（抱っこ専用） ＋ ショルダーパッド

※製品の構造上、ショルダーベルトがねじれていますが、実際に装着するとショルダーベルトが体に沿ってフィットするので縫製不良ではありません。

ツインズ抱き　使用するパーツ：本体A・本体B

▲腰がすわってから２人合計 20kg くらい（約 12 ヶ月）まで。
※対面抱き、おんぶ それぞれ 10kg くらいまで。
▲ショルダーパッドは使用しませんので大切に保管してください。

1. 本体Aのおんぶの装着方法で１人目のお子様をおんぶします。

2. 本体Bを広げ、ウエストパッドが腹部にあたるようにウエストベルトを体型に合せて留めます。

3. 本体Bのショルダーベルトを長めに調節し、本体Aのベルトリングに図のように通してショルダーバックルを留めます。
（もう片方のショルダーベルトも同様に留めます。）

4. ２人目のお子様を抱き上げて本体Bに入れ、セーフティーベルトを留めます。お子様の腕はショルダーベルトの外側に出してください。

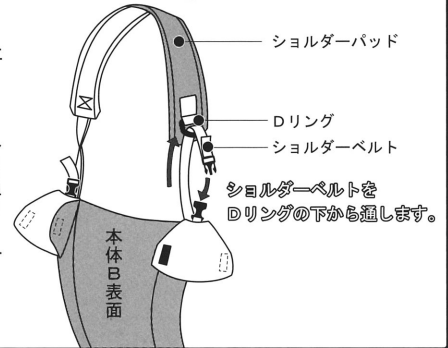
5. 保護者のおへそ上辺りにお子様のおしりがくるようにショルダーベルトの長さを調節し、ショルダーバックルカバーで包みます。
※スリーピングフードの使用方法は裏面をご参照ください。

腰ぼね抱き　使用するパーツ：本体B・ショルダーパッド

▲腰がすわってから 15kg くらいまで。
▲ショルダーパッドを使用します。
▲本体Aは使用しませんので大切に保管してください。
▲スリーピングフードは使用出来ませんので収納しておきます。

装着前の準備

本体Bにショルダーパッドをセットします。

1. ショルダーベルトは長めに調節しておきます。
2. 本体Bのショルダーベルトをショルダーパッドのリングに図のように下から通し、ショルダーバックルを留めます。
（もう片方のショルダーベルトも同様に留めます。）

1. 本体Bを広げ、ウエストパッドが腹部にあたるようにウエストベルトを体型に合せて留めます。

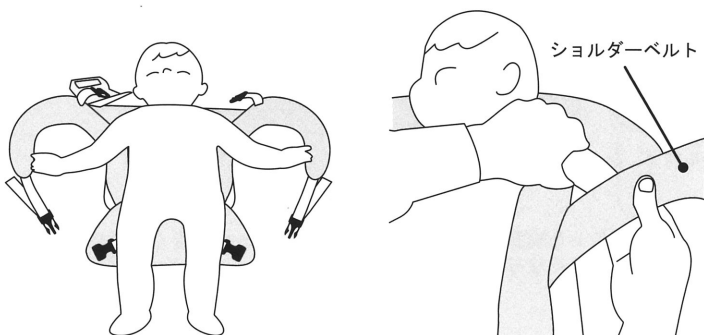
2. ショルダーベルトを首にかけ、たすき掛けになるように片方の腕を出します。※左右どちらの肩でも使えます。

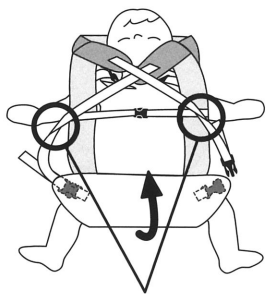
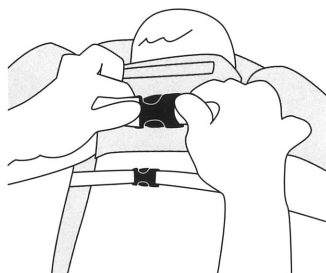
3. お子様を抱き上げて本体Bに入れ、セーフティーベルトを留めます。お子様の腕はショルダーベルトの外側に出してください。

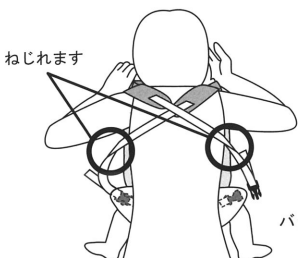
4. 保護者のおへそ上辺りにお子様のおしりがくるようにショルダーベルトの長さを調節し、ショルダーバックルカバーで包みます。

取り外す時は手順を逆に行ってください。

対面抱き　使用するパーツ：本体A

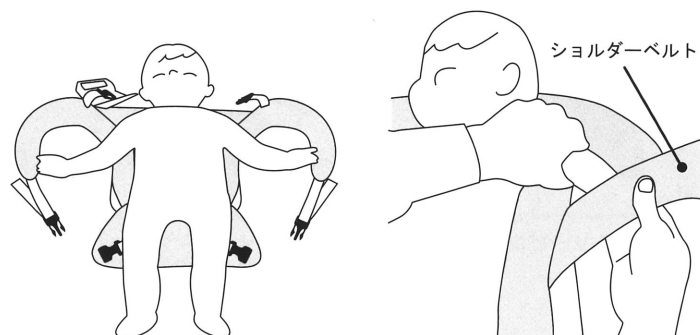
▲腰がすわってから15kg くらいまで。
▲本体B、ショルダーパッドは使用しませんので大切に保管してください。

1. 本体Aを広げ、ショルダーベルト、ショルダーブリッジ、セーフティーベルトを外し、お子様をあおむけに寝かせます。

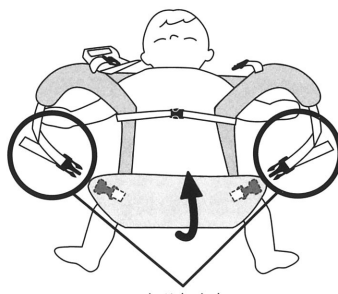
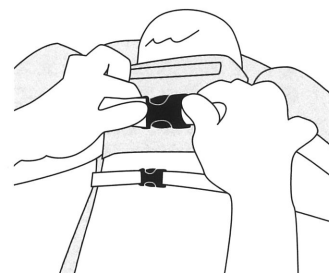
2. お子様の腕を左右それぞれのアームホールに通し、本体の外に出します。

3. セーフティーベルトをお子様のお腹の上で留め、オムツをつけるようにしずみ防止パッドを折返し、ショルダーベルトを交差させて片方のバックルを留めます。

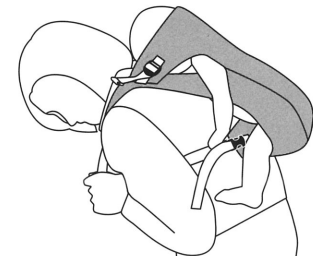
4. ショルダーブリッジを留めてブリッジカバーで包みます。

5. ショルダーベルトが背中で交差するように頭をくぐらせ、お子様を抱き上げ、もう片方のショルダーバックルを留めます。

6. 保護者のおへそ上辺りにお子様のおしりがくるようにショルダーベルトの長さを調節します。ヘッドサポート調節具でお子様の頭を支えるように長さを調節します。

おんぶ　使用するパーツ：本体A

▲腰がすわってから15kg くらいまで。
▲本体B、ショルダーパッドは使用しませんので大切に保管してください。

1. 本体Aを広げ、ショルダーベルト、ショルダーブリッジ、セーフティーベルトを外し、お子様をあおむけに寝かせます。

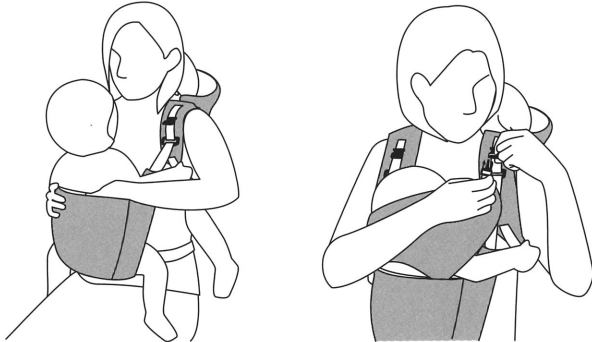
2. お子様の腕を左右それぞれのアームホールに通し、本体の外に出します。

3. セーフティーベルトをお子様のお腹の上で留め、オムツをつけるようにしずみ防止パッドを折返し、バックルを留めます。

4. ショルダーブリッジを留めてブリッジカバーで包み、ヘッドサポート調節具で長さを調節します。

5. 左右のショルダーベルトを持ち、ショルダーベルトが両肩にかかるように背負います。
※介添えしていただく事をおすすめします。

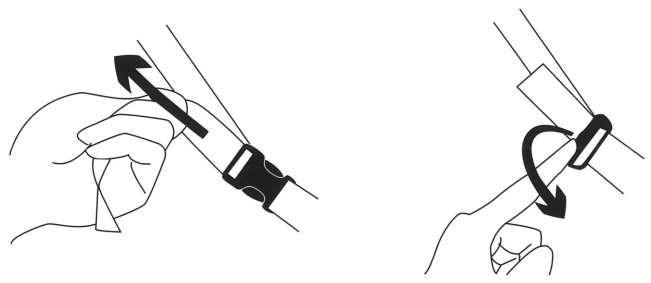
6. 保護者の腰あたりにお子様のおしりがくるようにショルダーベルトの長さを調節します。
※ショルダーベルトはリュック式です。

取り外す時は手順を逆に行ってください。

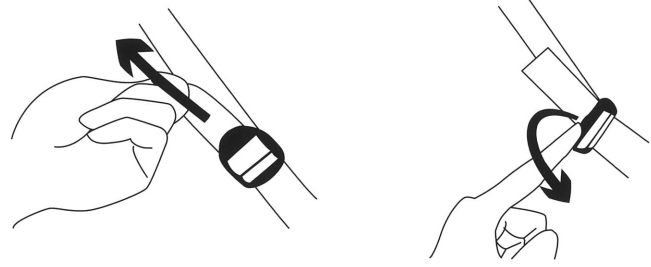
スリーピングフードの使用方法

▲ツインズ抱き以外には使用できません。

1.本体Bからスリーピングフードを取り出します。

2.本体Aのスリーピングフードバックルに留め、お子様の頭を支えるように長さを調節します。

ベルトの調節方法

▲余っているベルトをバックルと並行に引っ張ると短くなります。

▲バックルを起こすと長くなります。
※お子様の重みで簡単にゆるみますので必ずお子様に手を添えて調節してください。

ヘッドサポート調節具の調節方法

▲余っているベルトを調節具と並行に引っ張ると短くなります。

▲調節具を起こすと長くなります。
※お子様の重みで簡単にゆるむ場合がありますので必ずお子様に手を添えて調節してください。

⚠注意　必ずお読みください。

- ●ご使用前に各部の調節器具、バックルが確実に留められている事をお確かめください。
- ●腰のすわらないお子様へのご使用は絶対にしないでください。
- ●お子様と保護者の間はゆとりを少なくしてご使用ください。お子様が前後左右に動くと落下の恐れがあります。
- ●セーフティーベルトは安全のため必ずしっかりとお子様の体型に合せて留めてください。
- ●ご使用中はお子様を支えるよう必ず手を添えてください。
- ●対象重量は腰がすわってから２人の場合：合計 20kg くらいまで（抱っこ・おんぶそれぞれ 10kg くらいまで）
  1 人の場合：腰がすわってから 15kg くらいまでとお考えください。
- ●授乳後約30分、連続2時間以上のご使用は思わぬ負担をかける恐れがありますのでおやめください。
- ●製品の着脱は必ず安全な場所で、座った状態（低い体勢）で行ってください。また、介添えしていただくとより安全です。
- ●ご使用中は走ったり、前かがみ等無理な姿勢は絶対にしないでください。
- ●ご使用中は自転車、バイク、ブランコ等の乗り物に乗ったり、両手の自由を奪われるような動作は絶対にしないでください。
- ●スリーピングフード収納部に硬いものや鋭利なものを入れないでください。お子様の身体に思わぬ負担をかける恐れがあります。
- ●ベルト先端の三つ折は、ほどいたり切り落としたりしないでください。
- ●バックル等の部品に指や手を挟まないようご注意ください。
- ●バックル等の部品が破損したり、生地や糸にほつれ、やぶれ、傷等が生じた場合には絶対に使用しないでください。
  万が一、部品が破損した場合はケガや誤飲の恐れがありますのでご注意ください。
- ●この取扱説明書は大切に保管してください。

■お手入れ方法

- ●水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
- ●漂白剤、乾燥機等のご使用はおやめください。
- ●色落ちすることがありますので、他のものとは別に洗ってください。

※現在の染色技術では、汗や摩擦による多少の脱色や移色は避けられませんのであらかじめご了承ください。特に、濃色の場合には十分にご注意ください。

材質・部材は十分に選別しておりますが、経時劣化は避けられません。使用頻度にもよりますが、お使い始めてから約3年を耐用年数としてお考えください。取扱説明書なしで第三者にゆずったり、貸したりしないでください。また、取扱説明書や注意事項を読まずに使用された場合には賠償責任保険が適用されない事もありますのであらかじめご注意ください。

●予告なしに多少の仕様が変わる事があります。●製品には万全を期しておりますが、万一異常が認められましたら直接販売店、または下記にご連絡ください。

www.eightex.co.jp
日本エイテックス株式会社
〒102-0082 東京都千代田区一番町15-8 3F
TEL 03-3264-1011